

ジュニア科学クラブ 7

★★

夏休みの天体観察

星の観察をしてみたい！と思っても、ふだんはなかなか夜ふかしもできないし、大阪だと星もたくさんは見えないし、などということがあると思います。夏休みであれば、少し夜ふかしをしてもいいかな？という日もあると思います。ふだんはなかなかできない星の観察に、じっくり取り組んでみましょう。

金星、いつまで見えるかな？

今年に入ってから、夕方西の空に金星がずっとよく見えていましたが、最近では金星の見える時間が短くなってきました。これから8月にかけて、さらに見えづらくなってきます。何日まで見られるか、チャレンジしてみましょう。西の空の見晴らしの良いところで観察してみましょう。

夏の大三角や明るい星を見つけよう

夜の9時頃、すっかり暗くなると、夏の大三角や、さそり座のアンタレス、うしかい座のアークトゥルスなど、明るい星は大阪市内でも見つけることができます。実際の空で、星を見つけて名前を調べてみましょう。

月を観察しよう

月をじっくり観察すると、いろいろおもしろいことに気づくことができます。まず、月が見える時刻は、毎日変化しています。夜になったらいつでも月が見える、というわけではありません。今年の夏休みで、あまり夜ふかししなくても月を観察することができるのは、7月20日ころから8月4日ころです。毎日観察すると、他の星と比べて月の位置が毎日少しずつ変化していたり、月の形が少しずつ変化していることが分かります。月の近くに目印になるような星が見えたら、月と星の位置関係をスケッチして記録に残しましょう。

流れ星を観察してみよう

8月13日前後に、「ペルセウス座流星群」を観察するチャンスがあります。天気の良い日に観察に挑戦してみましょう。ペルセウス座流星群の観察では、流れ星が見えるチャンスが多いのは、毎日朝2時頃～4時ころです。夜の早い時間はチャンスは少なめで、遅い時間ほどおススメです。

また、流れ星が見えるチャンスが多い日は、8月13日の朝と14日の朝、その次におススメなのが12日の朝です。11日以前や15日以降はチャンスは少ないです。超早寝して超早起きして観察するのがおススメですが、難しい人は13日の夜は他の日よりも夜の早い時間からチャンスがあります。

流れ星は空のどの場所にでも現れるチャンスがありますので、ペルセウス座と関係なく、好きな方角を観察すればOKです。見晴らしの良い方向の空を観察しましょう。流れ星の飛ぶ向きに注意して観察すると、何か発見があるかもしれません。

観察は安全な場所で

天体観察を行うときは、必ず安全な場所で行いましょう。公園などで観察するときは、大人の人と一緒に観察しましょう。道路のわきや駐車場など、車が来る可能性のある場所での観察はぜったいにやめましょう。

いいやまおおみ(科学館学芸員)

7月のクラブ

7月16日(日) 10:05 ~ 10:45

◆集 合：プラネタリウムホール(地下1階)
9:30~9:55の間に来てください

◆もちもの：会員手帳・会員バッジ

◆内 容：10:10~10:45 プラネタリウム「夏休みの天体観察」見学

- ・途中からは入れません。ちこくしないように来てください。
- ・プラネタリウムは、一般の方と一緒に見学していただけます。ご家族の方も、観覧券をご購入のうえご覧いただけます(※満席の場合はご覧いただけません)。
- ・7月のクラブでは、「てんじ場たんけん」は行いません。

※変更等がある場合があります。

来館前に、科学館の最新情報やクラブ当日についての詳細を、科学館公式ホームページでご確認ください。